

平成 27 年度 西小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日	平成 27 年 11 月 9 日 (月)	会場	西地区コミュニティ防災センター
-----	----------------------	----	-----------------

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
寿町自治会	栄町自治会	西本町自治会
西若町自治会	加屋町自治会	広小路町自治会
三好町自治会	清住町自治会	泉町自治会
南町自治会	緑町自治会	地域包括支援センター三島
三島市立緑町佐野保育園	私立星園幼稚園	西幼稚園、PTA
西小学校、PTA	三島北中	三島南中
西小学校支援地域本部	保健委員会	スポーツ推進委員
消防団第 1 分団		

※当日参加者 24 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 民生委員児童委員：各町内の民生委員を確認し、困りごとを相談したり、ご近所で何か気づいたことがあった場合（高齢者問題・児童虐待など）、情報を伝えてほしい。
- 地域包括支援センター：6～7月「地域安心サポーター養成講座」を開催。高齢者が安心して生活できる地域づくりを目指す。受講後は地域で見守り・サロン活動等実施。
- 栄町自治会：9/23(水)栄町公園「萬霊供養祭」を実施（参加者役員等約 10 名）。12～2 月「夜警巡回」を実施、参加者が年々減少、組別に強制的に実施。
- 寿町自治会：12/6(日)「餅つき大会」開催、町内の関係する会の協力を得て実施。町内に 10 名いる小学生のうち、子ども会参加者は 8 名。新入生はゼロ、今後更に減少が予想される。
- 西小学校支援地域本部：花壇の整備や学習支援を実施。学校、保護者、地域、地域の企業と協力し、パワーアップしていきたい。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①防災力を強化するために地域でできることを考えよう！	3 人
②地域のコミュニケーションを広げる取り組みを実践しよう！	4 人
③行事をきっかけに地域のコミュニケーションを広げよう！	14 人
④その他	0 人

※アンケートの結果、②と③に分かれ話し合いました。

テーマ別会議①：「地域のコミュニケーションを広げる取り組みを実践しよう！」

現状・課題	解決策	取り組めそうなこと（案）
<p>●おやじの会はPTAの一部として活動している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAと自治会はつながりがない ・おやじの会は、学校への宿泊、防災訓練、どんど焼きをやっている ・今の父親は子どもの活動に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親が関わりやすい雰囲気づくり ・関係団体が協力して行事を開催 ・しゃざりを通じて子ども会入会 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやじの会と自治会での情報共有
<p>●情報発信の方法が不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のブログ等で情報を発信しているが、見てもらっているか不安 ・最近は、回覧板を見ない。また、高齢者はネットを見ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は高齢者もPCが使えるようになってくるので、継続して情報発信する 	<p>●情報発信を続ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報を発信する ・連絡が足りない
<p>●自治会活動への関心の低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが学校を卒業すると親が自治会の活動に来ない ・自治会活動に高齢者が参加してもその子どもは参加しない ・親（祖父母世代）が子ども（子育て世代）にものを言えない ・役員の担い手不足、イベント参加者が限られている 	<p>●幼稚園と地域の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児の会で母親同士が仲良くなる ・幼稚園、老人会との交流は日程のとり方が難しい ・子どもの人数が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・日大生に参加してもらう工夫
<p>●冠婚葬祭がコミュニケーションに役立っていた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭が個人的になってしまった ・近所に頼むことが悪いと思ってしまう（業者に頼むことが一般化） ・葬祭会館ができたことで地域のコミュニケーションが少なくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・組の会合を昔はやっていたが今はやっていない 	<p>●組の会合など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組の常会、新年会 ・清掃にジュースなど渡す
<p>●消防団員の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員が必要（団員が出ていない） ・自治会長に情報がいっていない（自治会と住人とのつながり不足） ・11自治会のうち消防団が出ているのは半分もない 		
<p>●老人会の活動も停滞している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「老人会」という名前が良くない⇒「シニアサークル」に ・「(自分は)まだ老人ではない」と思う人が多い ・役をやりたいがらない ・保健相談は70～80代が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独死を防ぐために、老人会が必要 ・会には入りたくないが、やりたいものなら参加する 	

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

テーマ別会議②：「行事をきっかけに地域のコミュニケーションを広げよう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の付き合いを嫌がる ・どうやって参加してもらえるか？ ・個々の団体のみで活動している ・行事への参加をお願いしてもほとんど参加なし関わりたくない ・行事に参加する若い人を誘うには？ ・20代の参加者が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・皆が参加しやすい行事を企画 ・行事の打ち上げで親睦を深める ・もちつき&運動会は楽しい 	<p>●各団体と協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体に参加協力を願う ・声かけ運動をするため、しゃぎり練習等に参加して顔を覚えてもらう ・各種団体から呼び込もう ・次につなげる誘い合い
<ul style="list-style-type: none"> ・周りとながれない子がいる ・責任問題が生じる行事をやりたくない 		<p>●子どもと高齢者の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や認知症についての知識を学んでもらう ・地域の大人（時にお年寄り）と子どもがふれ合う機会があまりない。大人と子どもが集う催事を作りたい ・西小デイ教室に通う方たちが園児に声をかけてくれる ・高齢者向けの講座に小中高生に受講してもらおう ・認知症サポーター養成講座を小中高生に受講してもらい、地域での見守りに活かしてもらおう
<p>●他地域よりもコミュニティが繋がっている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状でよし ・昔に比べて本当にコミュニティが希薄か？ ・コミュニケーションが良くなっている部分があるように思える 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、認知症の方が増えており、地域での見守りが必要となっている ・デイ教室の方たちと何か交流ができれば良いと思う ・祭り、運動会など、子どもが中心となってそれに父母が参加、見守りをする中で親同士のコミュニケーションが取れる 	<p>●若者が参加したくなるイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加費をとってやる
<p>●知らないことが多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事のお知らせが伝わってこない ・縦割りの行事遂行であるが、いかに全体に周知させるかが問題 ・どの団体が何の行事をやっているのかわからない ・新しく来た人は地域ことを知らない（幼稚園） 	<p>●情報共有が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内単位で情報共有する ・町内の総会を利用してはどうか ・伝達方法を考えないといけない ・母親にお知らせをしたい 	<p>●伝達手段を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人はメールなどの方法が有効 ・高齢者はメールを使えない ・自治会を通じて効率よい伝達方法を考えるべき。各地域間のコミュニケーションを取るべきである ・母親への情報提供は地域の宝事業が有効

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

